

- これまで橿原市では、第三者検証チームとは別に、市内部でも検討チームを立ち上げています。
- 再発防止策は、第三者検証チームから報告を受けて具現化することを基本としていますが、当該チームでは、市議会からのご意見も踏まえ、できるところから検討を開始しており、具体的には、
  - ① 再発防止に向けて現時点で緊急避難的に実施する施策の検討に加え、
  - ② 再発防止策の底上げを図るため、「本来あるべき体制のあり方」の議論にも着手しています。

## 『奈良県・橿原市共同設置検証チーム』（第三者検証チーム）

【役割】 今事案の検証を実施する主体であり、再発防止策を含む調査報告書を取り纏める。

【メンバー】 児童福祉や法律分野の見識を有する者（5名）

↑ ヒアリング等により必要な情報を提供

↓ 報告書

↑ ヒアリング等により必要な情報を提供  
↓ 報告書

### 橿原市

#### 「橿原市4歳女兒に係る重大事態に関する再発防止策検討チーム」

【役割】 『奈良県・橿原市共同設置検証チーム』から提出された再発防止策の具現化検討および奈良県との連絡調整等

【メンバー】 市長、副市長、倫理統制監、危機管理監、関係部長他

連携

### 奈良県

子ども家庭課  
及び  
高田こども家庭  
相談センター

# 檀原市のこれまでの取り組みについて

○これまでの検討チームでの議論の結果、以下については、既に対応を行っています。

## (1) 緊急避難的な人的補強

- ・昨年11月に経験豊富な元職員1名を配置したほか、正規職員1名も加配して配置。

## (2) 情報共有方法の改善

- ・管理職等からの口頭による指示や指導事項の記録化
- ・困難事案等の事案の重要度に応じた決裁区分の変更

## (3) 職員のメンタルヘルスケア

- ・今回の事案に関し、相談員のメンタル面への影響を考慮し、臨床心理士による面談を実施

## (4) システム活用を開始（新たに、家庭児童相談システムを1月から導入）

- ・定量的リスクマークの導入（世帯状況や福祉サービスの受給状況から児童や家庭のリスクを判定）
- ・訪問等の進捗管理（アラートによる定期的な訪問等の遅延防止）
- ・業務の効率化（会議資料の作成時間の削減や記録入力作業の負担軽減等）

○上記のほか、有識者等から様々なご意見をいただき、また、他市へのヒアリングも行うなど、「本来あるべき体制のあり方」の議論も並行して実施しています。

# 橿原市のこれまでの取り組みについて

○また、4月以降についても、以下により、対応してまいります。

## (1) 虐待対応と相談支援の分割等による体制強化

- ・ こども家庭課（こども家庭センター）設置に伴い、児童虐待対応を支援係が、相談対応を相談係が担当する体制に移行します。
- ・ 各担当係がそれぞれに特化した対応を行うことで、より専門的な支援の充実を図ります。

## (2) 家庭児童相談員の充実及び資質向上

- ・ 会計年度任用職員の処遇改善を図り、人材流出の防止に努めます。
- ・ 新たに心理士を任用し、こどもの心理面からのアプローチを実施します。
- ・ 専門家による研修により、対応力の向上を図ってまいります。

## (3) チーム制の導入

- ・ 2チーム制に移行し、リーダーの負荷を下げることで、適切な支援方針の決定に繋がります。

## (4) 統括支援員（こども家庭センター設置に伴う）及びスーパーバイザーの設置

- ・ 母子保健と児童福祉の双方についてマネジメントができる責任者を配置します。
- ・ スーパーバイザーを配置し、困難事案について支援をいただきます。

○ 上記のほか、関係団体との情報連携のあり方についても検討を進めています。（次ページ）

## 橿原市のこれまでの取り組みについて

- 再発の防止に向けて、大学教授やNPO法人会長等の外部の有識者のご意見等を拝聴する中で、NPO団体・民間団体・関係団体等との連携強化の重要性が述べられていました。
- 各種団体等との連携については、検証結果を踏まえて対策を講じる予定ですが、現時点での基本的な取組の視点としては、以下のとおりと考えています。

● **基本的な取組の視点** → ①多くの「目」で児童虐待の「芽」を摘む  
②育児不安を抱える保護者への支援体制を充実し、子育ての孤立化を防ぐ

① **多くの「目」で児童虐待の「芽」を摘む**

- ・市とともに地域（NPO法人、民間団体、関係団体等）が連携して見守りを行い、多くの目による見守りの輪を広げる。

② **育児不安を抱える保護者への支援体制を充実し、子育ての孤立化を防ぐ**

- ・保護者の悩みを傾聴するなど、子育て世帯に寄り添った相談体制を他団体と連携して構築。
- ・アウトリーチ型で子育て世帯を支援

→こうした、他団体との連携により、虐待の兆しの早期発見のみならず、虐待の発生予防にも繋げていきたいと考えています。

- 以上がこれまで、橿原市で行ってきた主な議論の内容になります。今回、検証チームからいただいた、「課題と提言」についても、真摯に受け止め、更なる再発防止策の具現化を行ってまいります。
- また、市と県のこども家庭相談センターとの情報共有のあり方も重要と認識しており、今後、県と一緒に検討を進めていければと考えています。